

(別紙)

## 地震予知研究 公開講演会の案内

### 可能性高まる「南海トラフ大地震」、GNSS(測地衛星)を用いたその予知は可能か トルコ・シリア大地震の全容、日本が学ぶべき教訓とは

#### (開催趣旨)

地震学が誕生して以来、大地震の予知は科学の大きな夢でした。阪神大震災、東日本大震災等を経験して、大地震の直前予知が国民の悲願となっています。将来発生が予想される南海トラフ巨大地震については、直前予知により多くの人命を救う事ができます。

これまで地震予知については、予知不可能論も喧伝され、冷ややかな状況にありました。しかし、東日本大震災をきっかけに、直前の地震前兆現象の存在が確認されました。今回の講演会では、測地衛星(GNSS)を活用した大地震直前の物理現象(特に電離圏)の異常について紹介します。

さらに今年2月6日に発生したトルコ・シリア地震の概要、特徴を紹介し、この地震による各地の揺れと建物の被害、橋梁・鉄道の被害、地表地震断層とそれによる被害状況について紹介します。これらの被害に対する直後の対応や復旧・避難・仮設住宅の対応の様子も紹介します。これらのことから、日本で学ぶべき教訓についても考えてみたいと思います。

◇開催日時：令和5年12月5日(火) 午後1時~4時

(開場：午後0時30分)

◇会場：大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール

(大阪市北区中之島4-3-53 TEL06-6444-2100)

◇参加申込：別添の講演会開催案内チラシをごらんください。

※お問合せ：大阪国際フォーラム TEL06-4706-0030 足立・長根

地震予知研究公開講演会

# 可能性高まる「南海トラフ大地震」、 GNSS(測地衛星)を用いたその予知は可能か トルコ・シリア大地震の全容、日本が学ぶべき教訓とは

主催：関西サイエンス・フォーラム 大阪国際フォーラム

共催：(一社)日本地震予知学会

後援：(一財)大阪科学技術センター (公財)関西・大阪21世紀協会

開催に当たって ビデオレター 尾池和夫(静岡県立大学理事長)

招待講演1 梅野 健(京都大学大学院教授)

「大地震発生直前の異変を確実に捉える」

—その日までに、そして直前の1時間に我々は何ができるか?—

招待講演2 森 伸一郎(愛媛大学特定教授)

「2023年トルコ・シリア大地震による被害と対応および日本が学ぶべき教訓」

講演 長尾 年恭(日本地震予知学会会長 東海大学客員教授)

「関西サイエンス・フォーラムが地震予知研究に果たしてきた役割と今後の地震予知研究」

開催日時：令和5年12月5日(火)午後1時～4時

会場：大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール  
(大阪市北区中之島4-3-53 TEL06-6444-2100)

参加申込：1 FAXでのお申込みは裏面の用紙に記載事項を記入の上  
06-6441-1030 まで送信してください

2 メールでのお申込みは  
①お名前 ②ご住所 ③法人、会社名等 ④電話番号を記載し  
ksf.mrg@kansaidoyukai.or.jp まで

申込締切：令和5年11月30日(木)

お問合せ：関西サイエンス・フォーラム TEL06-6444-3777 吉田・辻  
大阪国際フォーラム TEL06-4706-0030 足立・長根

# 地震予知研究公開講演会 申込み

FAX

06-6441-1030

お手数ですが、下記にご記入ください

|         |             |
|---------|-------------|
| 御芳名     | ①<br>②<br>③ |
| 御住所     | 〒           |
| 法人、会社名等 |             |
| 電話番号    |             |
| FAX     |             |



関西サイエンス・フォーラム

大阪国際フォーラム